

2009年10月1日

三菱マテリアルが5冊目となる「CSR報告書2009」を発行

三菱マテリアル(取締役社長:井手明彦、資本金:1,194億円)は、2009年9月末付でCSR報告書の5冊目となる「三菱マテリアル CSR報告書2009」を発行いたしました。

今年のCSR報告書では、近年の当社グループを取り巻く社会情勢、外部環境の変化を踏まえ、社会全体の持続可能性(サステナビリティ)や、ステークホルダーの皆様の視点をこれまで以上に重視して特定した9つの重要課題(マテリアリティ)を、4つのカテゴリー(「ESG(環境・社会・ガバナンス)」+「資源とリサイクル」)の中でご報告しています。

＜重要課題(マテリアリティ)9テーマ＞

- | | |
|----------|----------------------------|
| 経営報告 | (1) 内部統制の更なる推進 |
| 資源とリサイクル | (2) 製品の安定供給に向けた資源の確保 |
| | (3) リサイクル事業による循環型社会構築への貢献 |
| 環境報告 | (4) 環境保全・地球温暖化防止への取り組み |
| | (5) 環境配慮型の技術・製品開発の推進 |
| 社会性報告 | (6) 多様な人財の育成と活用 |
| | (7) 安全で健康な職場環境の構築 |
| | (8) サプライチェーンにおける社会・環境配慮の拡充 |
| | (9) ステークホルダーコミュニケーションの推進 |

また、特集として、鉱山業を原点とする当社グループの地域との共生の考え方や、都市鉱山とも深く関わる家電リサイクル事業などについてご報告しています。

当社では、CSR関連の情報開示が単に報告活動に留まらず、それぞれの取り組み状況の確認・検証等、CSR活動そのものの進化にも繋がる重要なプロセスだと考えており、これまでも、第三者評価の掲載など客観性の確保に努めてきましたが、次のステップとして、加盟するICMM(International Council on Mining and Metals＝国際金属・鉱業評議会)の情報開示活動の一環として、GRIガイドライン第3版に準拠した、より信頼性の高いグローバルに通用する開示情報の充実を目指しています。

当社の「CSR報告書2009」は、WEBに掲載する「銅事業カンパニーサプリメントデータブック」と併せ、GRIガイドラインが定義するアプリケーション・レベル「A」に該当する準拠水準を満たすものと考えています。

今後とも、当社は「CSR報告書」などによる積極的な情報開示やコミュニケーション活動に努めながら、本業を通して社会全体の持続的な発展に向け、一層の貢献を果たしていきたいと考えています。

*「CSR報告書2009」冊子本体は、以下のURLからPDF形式でご覧いただけます。

<http://www.mmc.co.jp/corporate/ja/03/06/report/pdf/csr2009.pdf>

尚、「銅事業カンパニーサプリメントデータブック」につきましては、10月中旬に当社WEB・CSRサイトで公開予定です。

以 上